

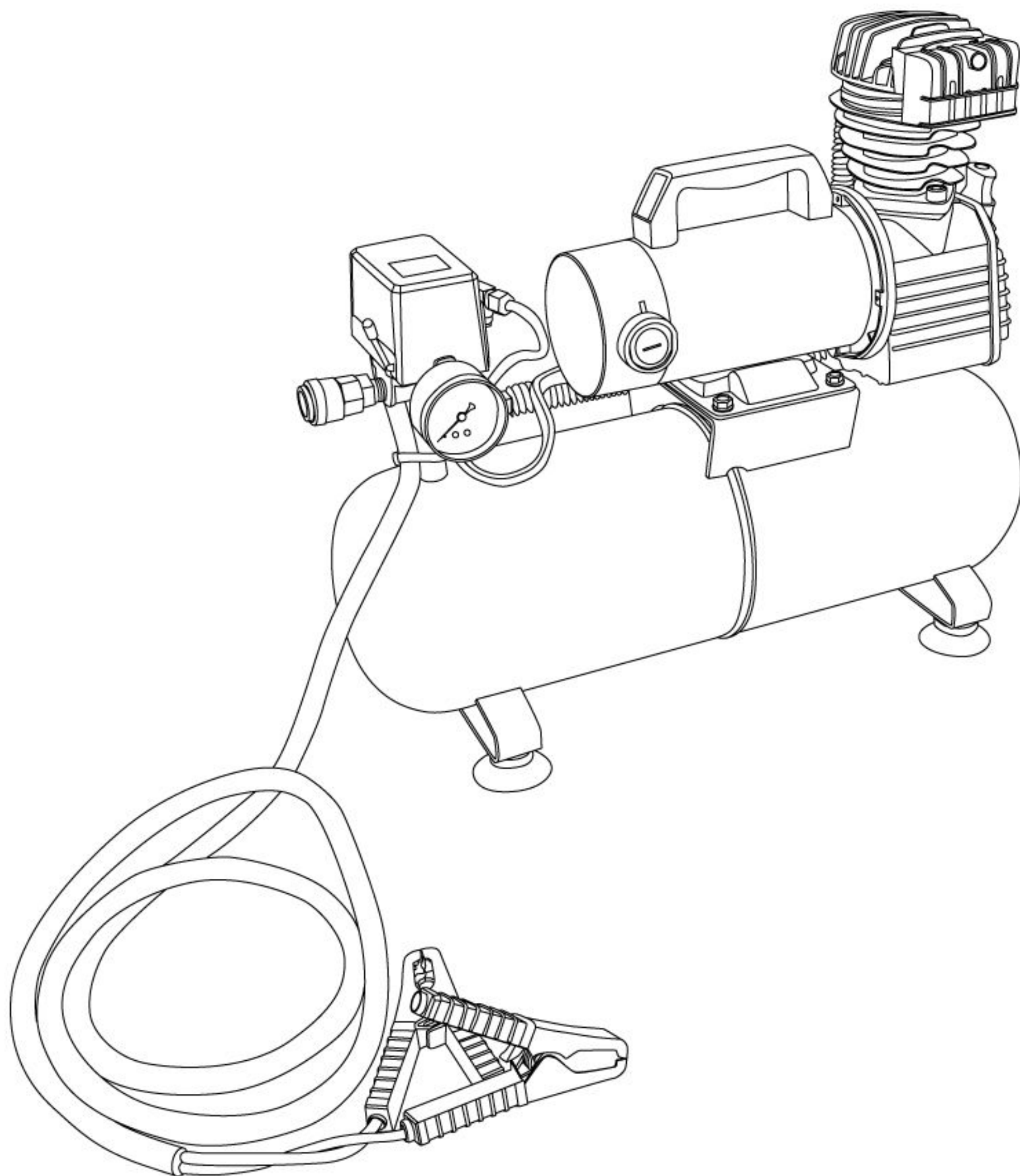
**NAKATOMI**

**DCエアークンプレッサー**

**DC12V CP-12BC**

**DC24V CP-24BC**

**取扱説明書**



このたびは、弊社「エアークンプレッサー」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は、海外ではご使用になれません。  
USE ONLY IN JAPAN.

# ご使用上の注意事項

- ◆ご使用になる前に安全上の注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、守らないと、人身事故や物的損害に結びつく重大な内容を記載しています。
- ◆読み終わったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。
- ◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書をつけてお渡しください。

## 表示と意味




**警告**

使用を間違った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険性、及び物的損害や火災の危険性が想定される内容を表記しています。



**注意**

使用を間違った場合に、使用者が傷害を負う危険性、及び物的損害の危険性がある内容を表記しています。

- ※ 注意の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。安全にご使用していただくために、いずれの注意も必ずお守りください。
- ※取扱上の危険についてすべての状況を予測することはできません。ここに記載した注意事項以外にも十分な配慮をしてご使用ください。



**警告**

- 記載された電圧以外では使用しないでください。本体損傷の原因となります。
- +と-をよく確認して取り付けてください。逆接を行うと本体損傷の原因となります。
- +と-を短絡させないでください。事故の原因となります。
- 作業場所には作業関係者以外近づけないでください。特にお子様は危険です。
- 揮発性可燃物（シンナー、ベンジン、ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないでください。
- 水のかかる場所では使用しないでください。感電・ショート・故障の原因となります。
- 水につけたり、水をかけたり、水洗いをしないでください。感電・ショート・故障の原因となります。
- 本機の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。破損・故障の原因となります。
- 火気を近づけないでください。変形・破損・故障の原因となります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。火災・感電・ケガ等の原因となり大変危険です。また、分解・改造を原因とした事故等において、当社は一切の責任を負いません。
- 電線を傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。感電・発火の原因となります。



**注意**

- 製品の運送途上の衝撃等により、製品が破損したり、取り付け部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用ください。
- ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認してください。
- 製品は大事に扱ってください。ぶつけたりした場合は、異常の有無を確認してください。
- 塗装作業、又は粉塵の多くでる作業時にはマスクを着用してください。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。また、著しく耐久性を低下させる原因となりますので、ご注意ください。
- 作業の能率や安全のために、取扱説明書に従って各部品がしっかりと取り付けられているか確認してください。
- 安全な作業をするためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。
- 整備点検・品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、クリップをバッテリーから外してください。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には、直ちに使用を中止してください。
- 調整に使用した工具類（スパナ・レンチ・ドライバー等）は、使用后すぐに外すようにしてください。

# 用途

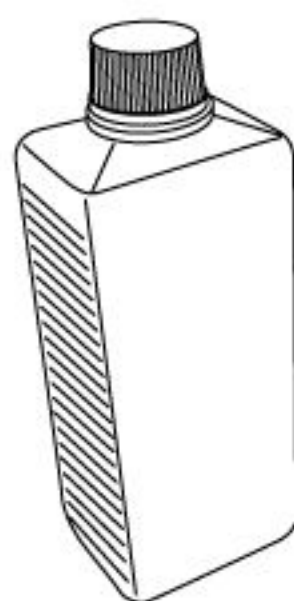
- 充てん用として（浮き輪、エアーマット、ボール、ビニール玩具、風船、自動車のタイヤ等）
- 農機具・車の保守用として（エンジンクリーナー、エアーツール等各種機械・ホコリ払い等）

# 仕様

型 式	CP-12BC	CP-24BC
電 源	DC12V	DC24V
電 流	43A	24A
吐 出 量	116L/min	
使 用 圧 力	0.78MPa	
タ ン ク 容 量	8L	
騒 音 値	74dB	
電 線 長 さ	約1.8m	
本 体 寸 法	幅480mm×奥行190mm×高さ420mm	
質 量	約14kg	

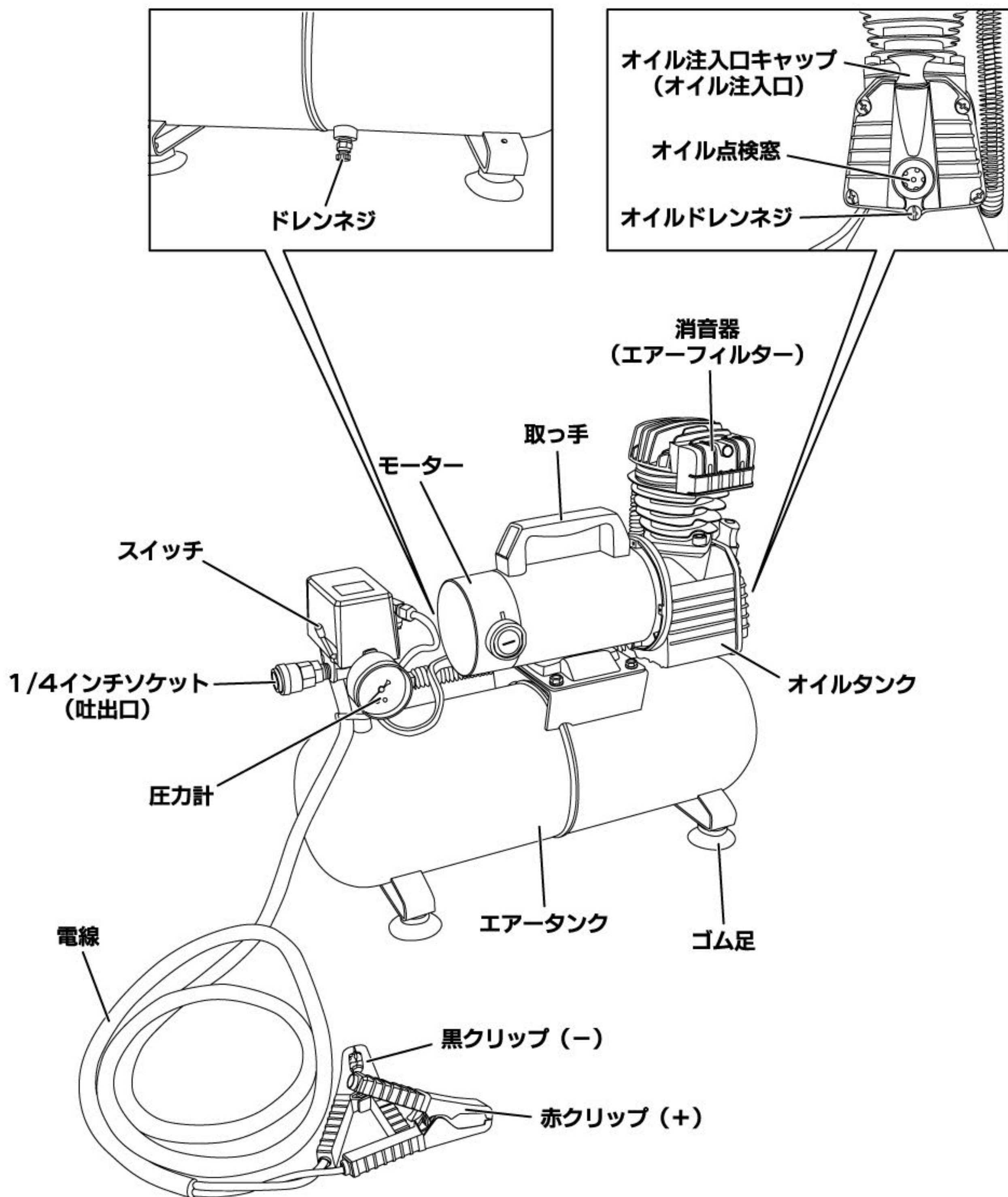
※製品の外観・仕様等は改良等のため、予告なく変更することがあります。

# 付属品



コンプレッサーオイル ×1

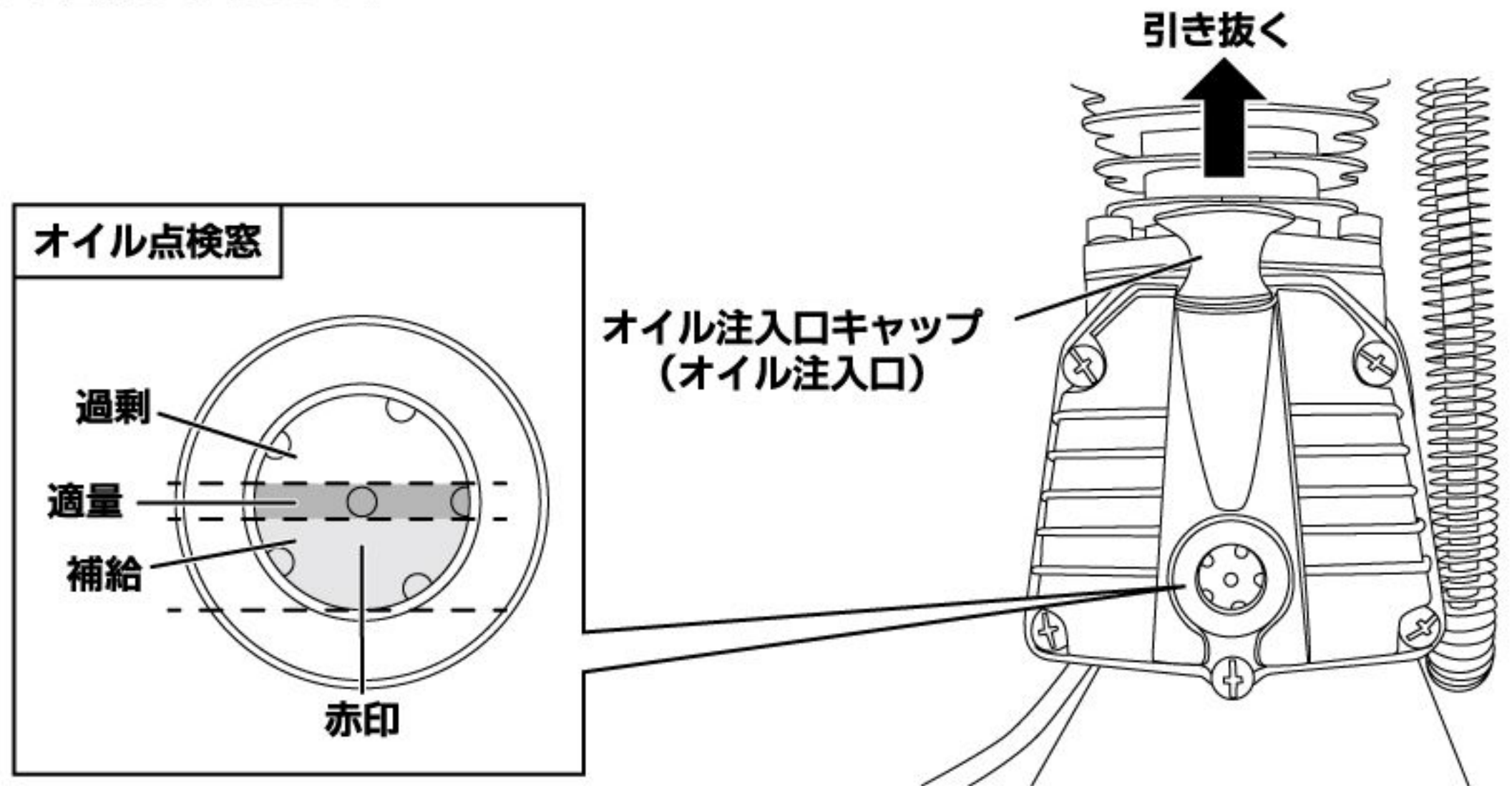
# 各部名称



# 使用前点検

## 【コンプレッサーオイル】

- 出荷時にはオイルは注油されておりません。付属のコンプレッサーオイルを、ジョウゴ等を使用してオイル注入口より注油してください。

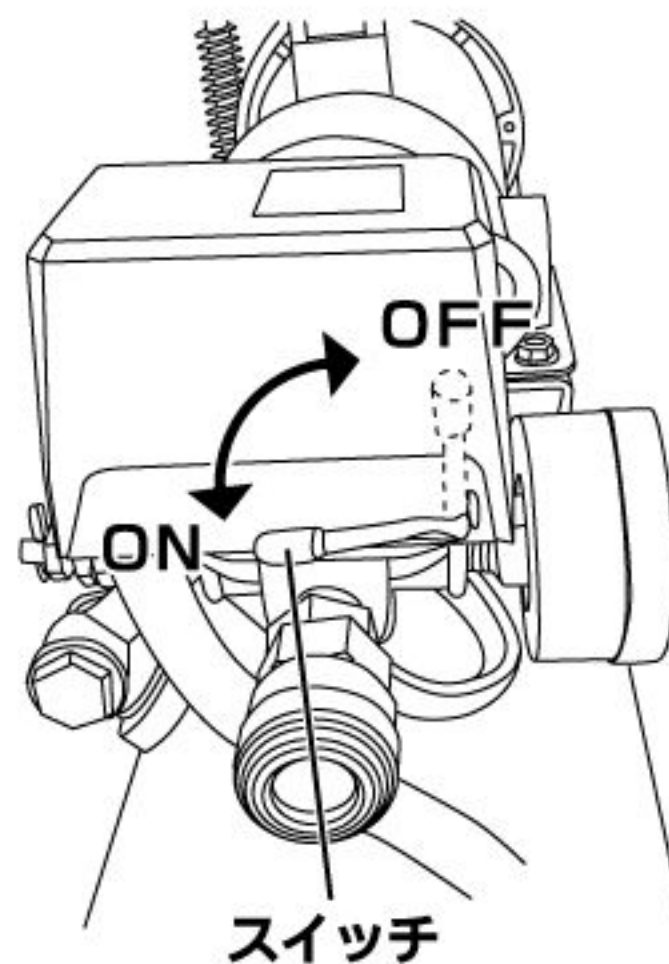


- オイル注入量はオイル点検窓から確認ができます。赤印よりも少なくなったらコンプレッサーオイルを補給してください。

# 使用方法

## 【スイッチ】

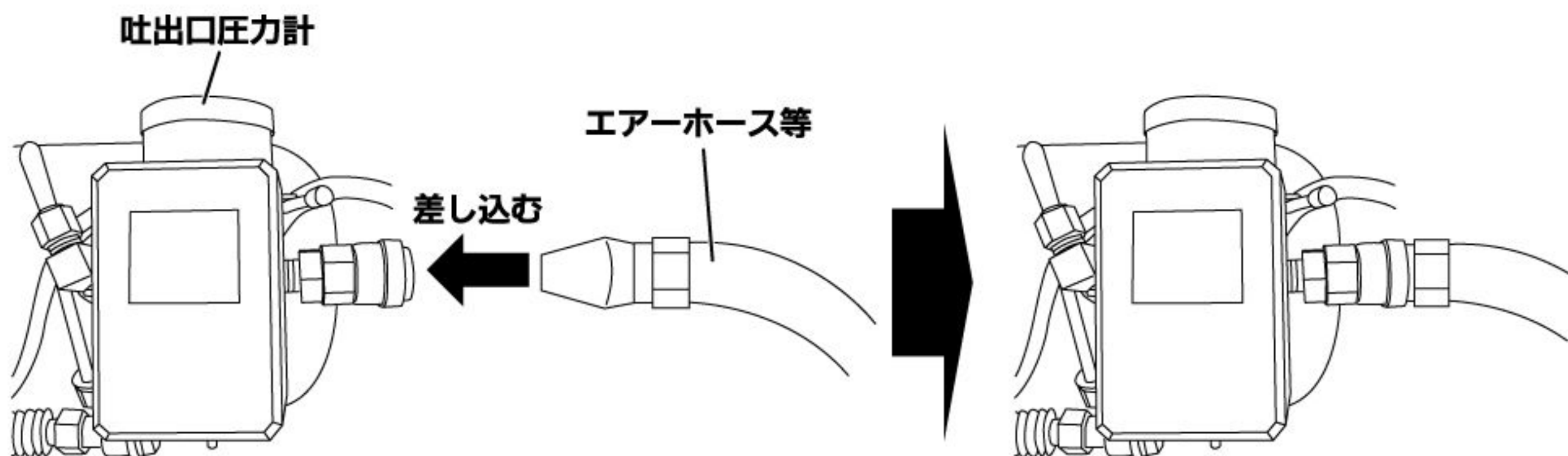
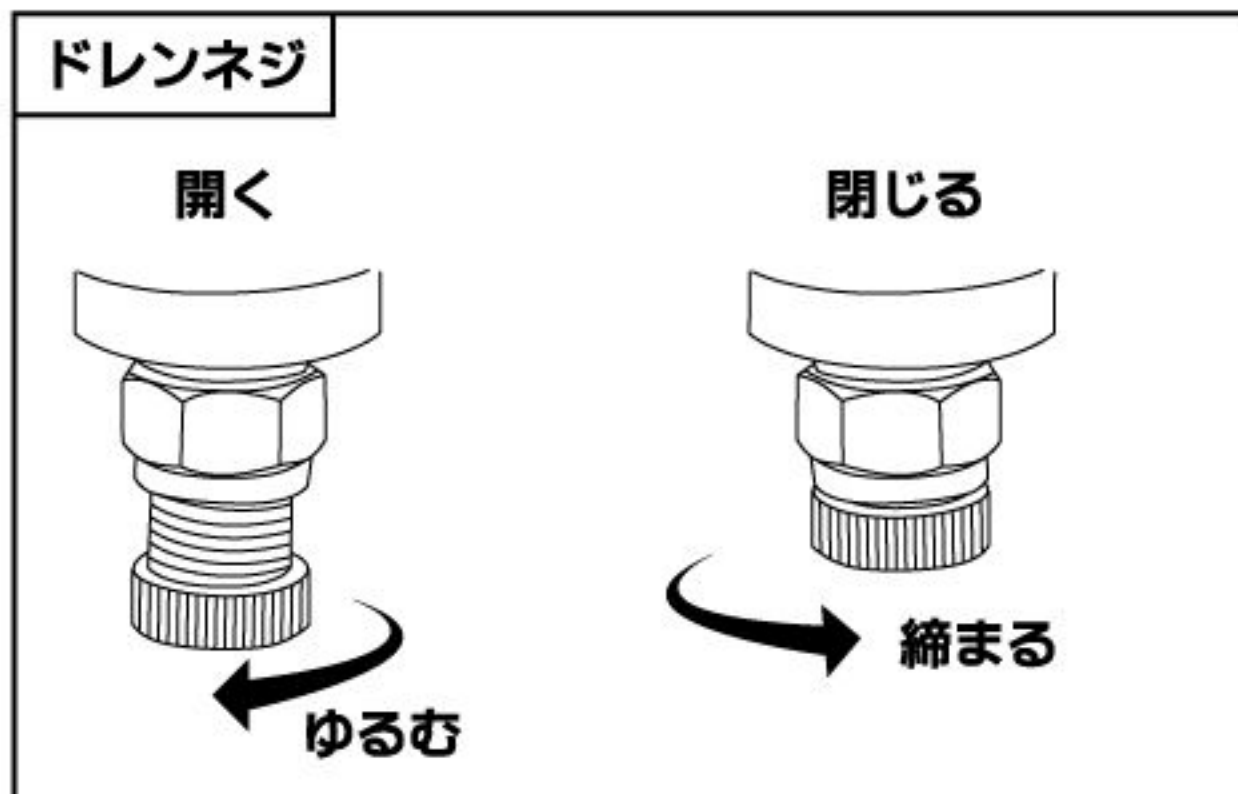
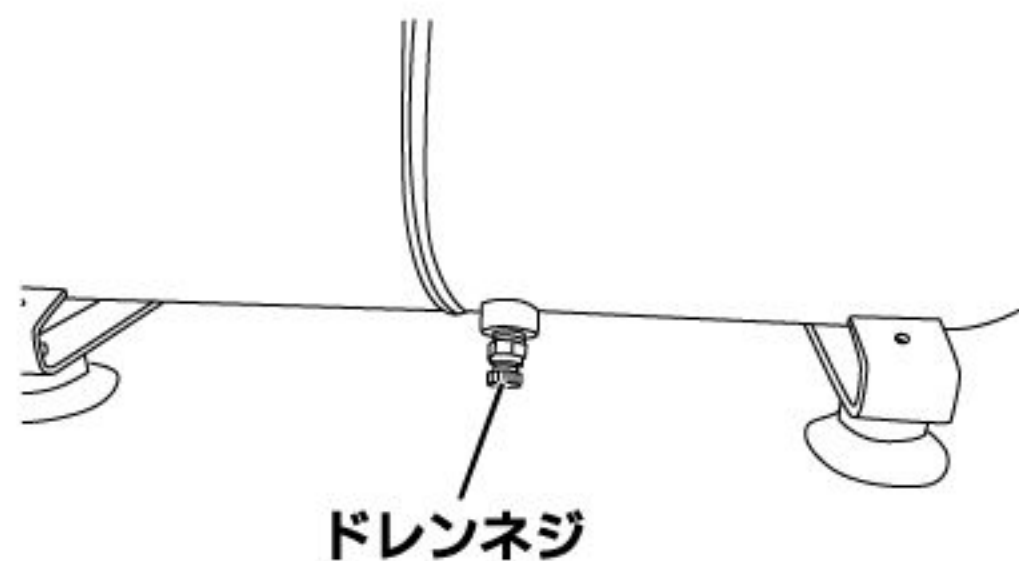
- バッテリーに接続する前に、必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- スイッチをON側に倒すと始動、OFF側に戻すと停止します。
- 使用する際は必ず車のエンジンを掛けた状態にし、バッテリー上がりにご注意してください。



- 本製品はタンク内圧力が約0.78MPa(8kgf/cm<sup>2</sup>)になると停止し、約0.59MPa(6kgf/cm<sup>2</sup>)まで下がると再起動します。
- タンク内圧力が約0.78MPa(8kgf/cm<sup>2</sup>)を超えても圧力スイッチが働かず停止しない場合には、約0.86MPa(8.8kgf/cm<sup>2</sup>)で安全弁が作動し、タンク内圧力を下げる安全構造になっております。

## 【エアーツールの取り付け】

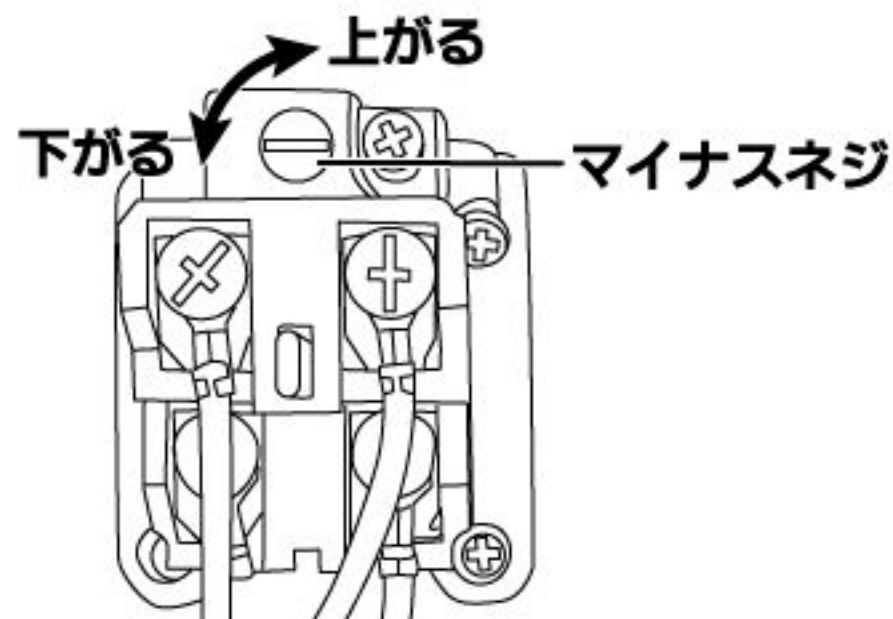
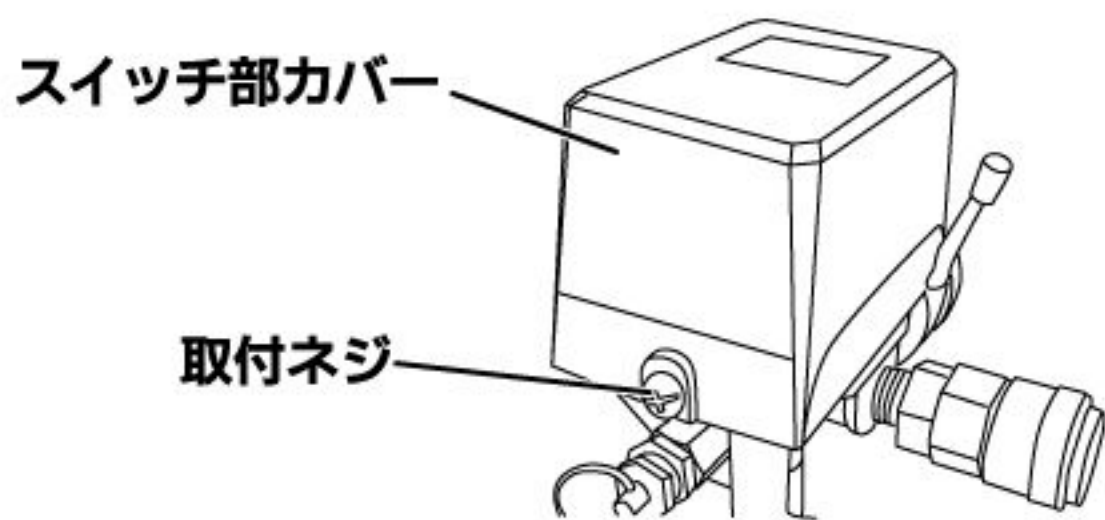
- エアースーツやエアーツール類を取り付け・取り外す際は、安全のためドレンネジを開き、エアータンク内を空にしてから作業を行ってください。



## 【圧力の調整方法】

◎圧力が0.78MPa(8kgf/cm<sup>2</sup>)まで上がらない場合

- 1 スイッチ部カバーの取付ネジをドライバーで外し、スイッチ部カバーを取り外します。
- 2 下図のマイナスネジをマイナスドライバーで時計方向に1回転させて調整してください。  
※目安として1回転で圧力が約0.05MPa(0.5kgf/cm<sup>2</sup>)上がります。



◎圧力が0.78MPa(8kgf/cm<sup>2</sup>)で止まらない場合

- ・同じくマイナスネジをマイナスドライバーで反時計方向に1回転させてください。  
※目安として圧力が約0.05MPa(0.5kgf/cm<sup>2</sup>)下がります。

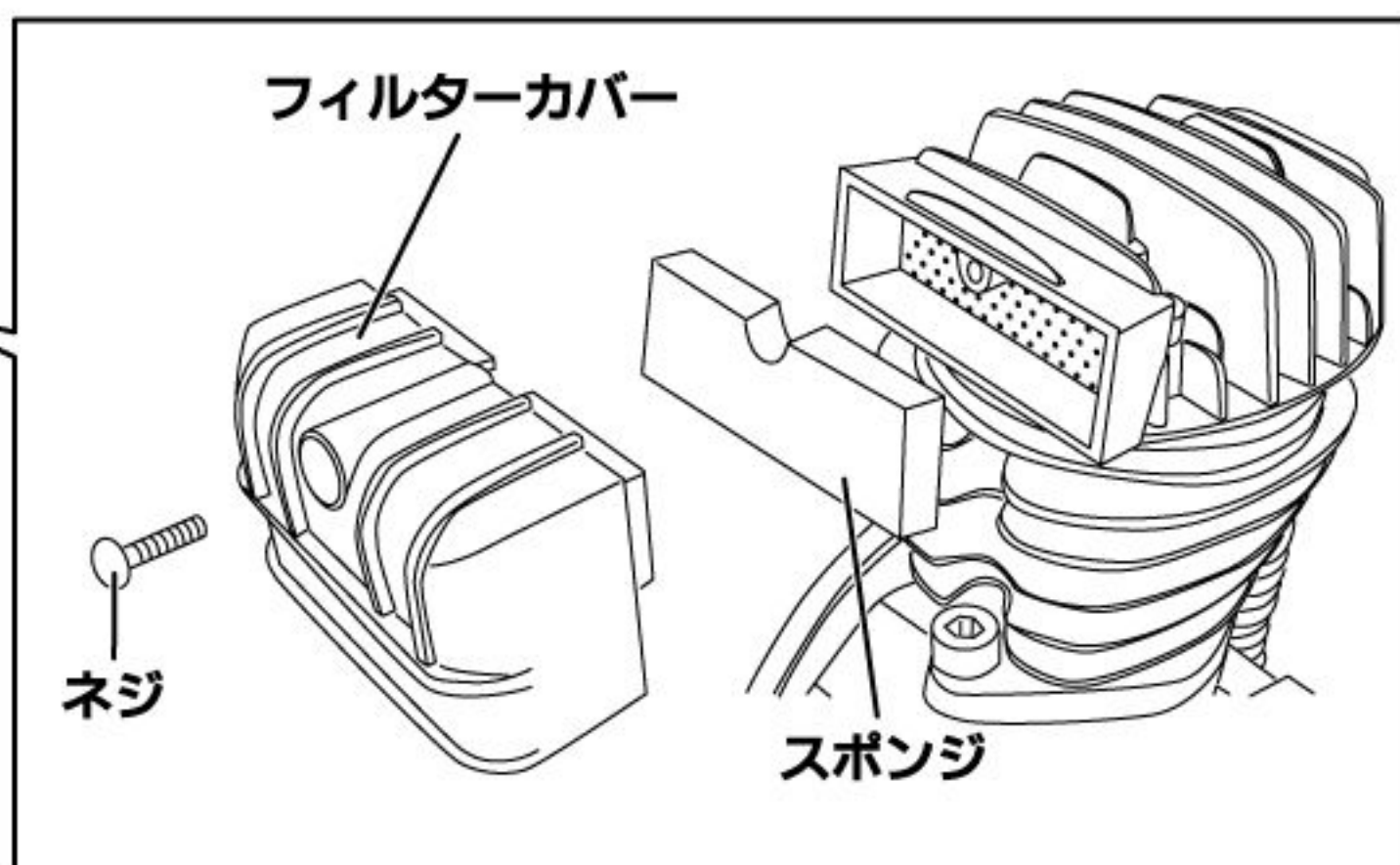
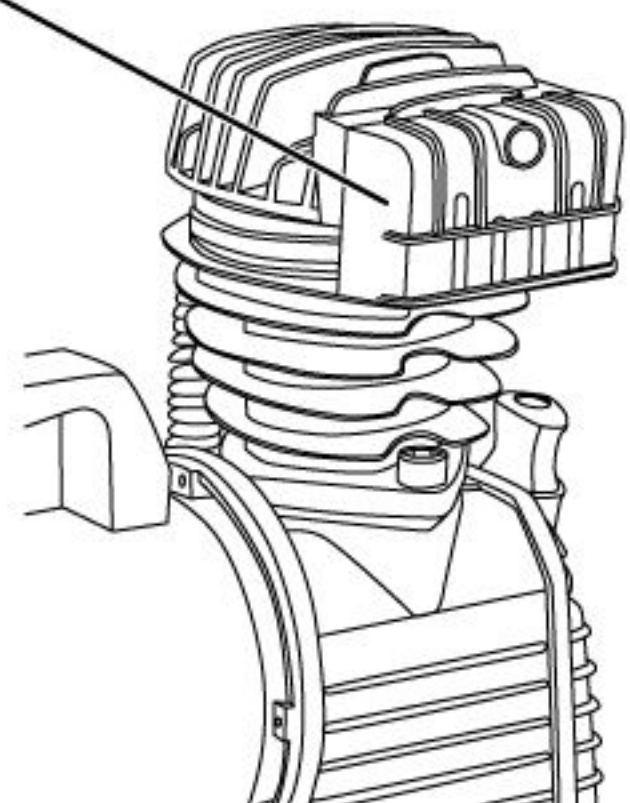
# 保守と点検

## 【消音器(エアフィルター)】

- 消音器(エアフィルター)は常に清潔にしてください。消音器が汚れているとコンプレッサーの機能が低下します。定期的にフィルターカバーを外して中のスポンジを食器用洗剤(中性洗剤)等で洗ってください。

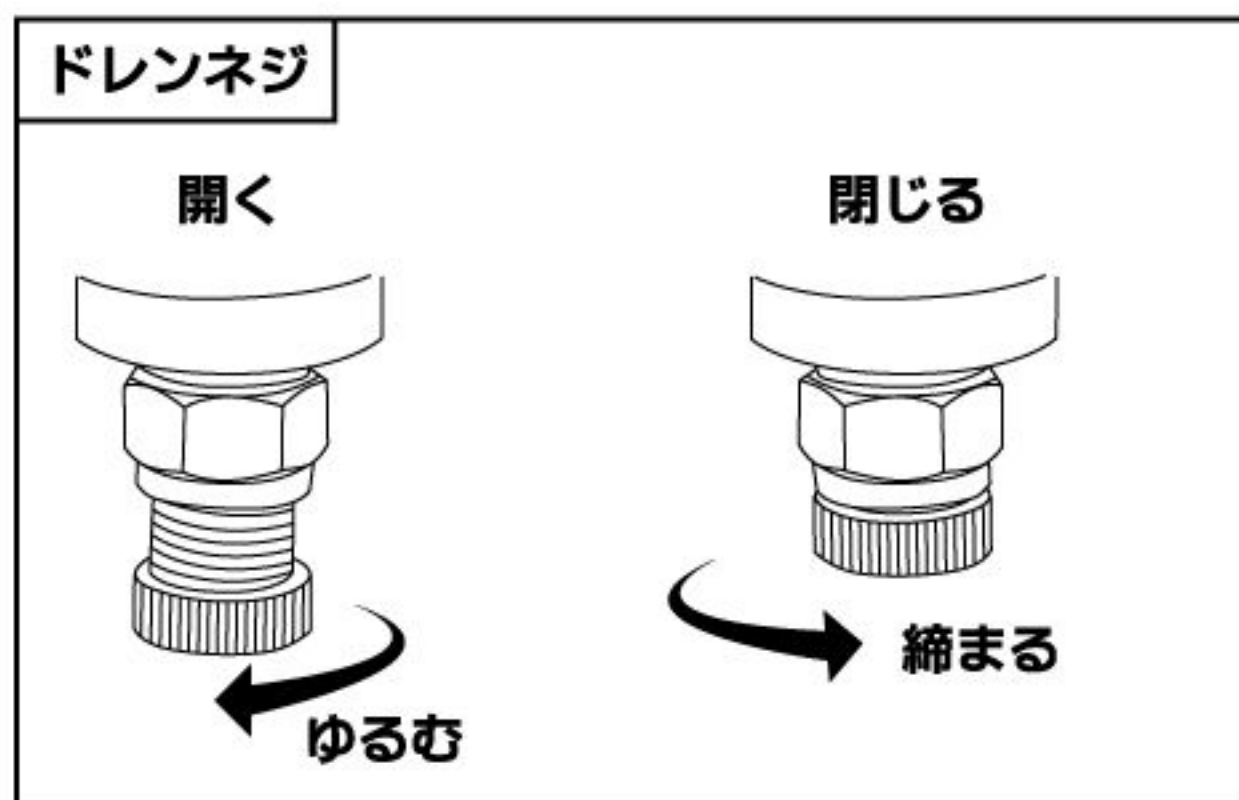
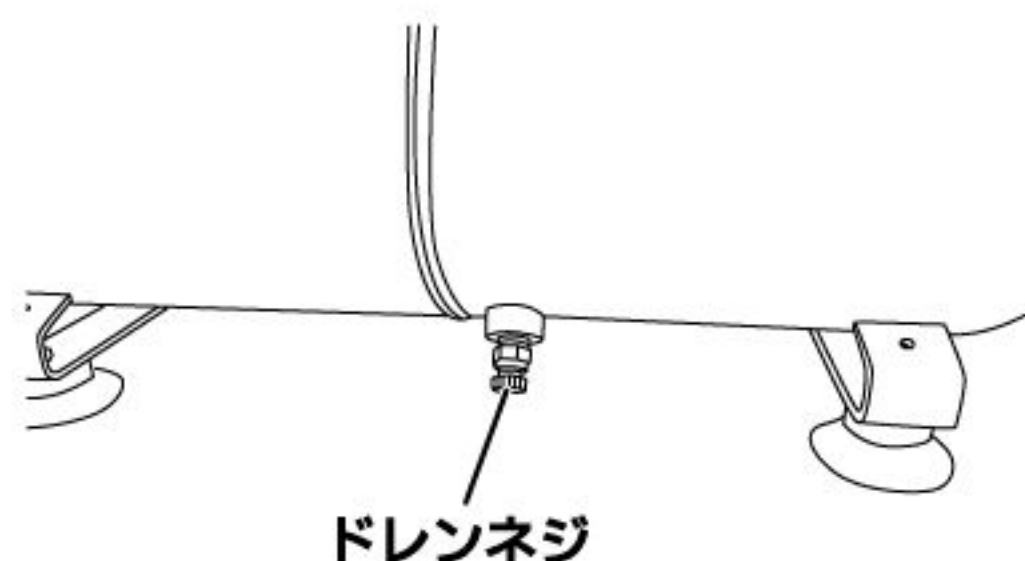
※スポンジの汚れがひどい時は、新しいものに交換してください。

消音器(エアフィルター)



## 【水抜き】

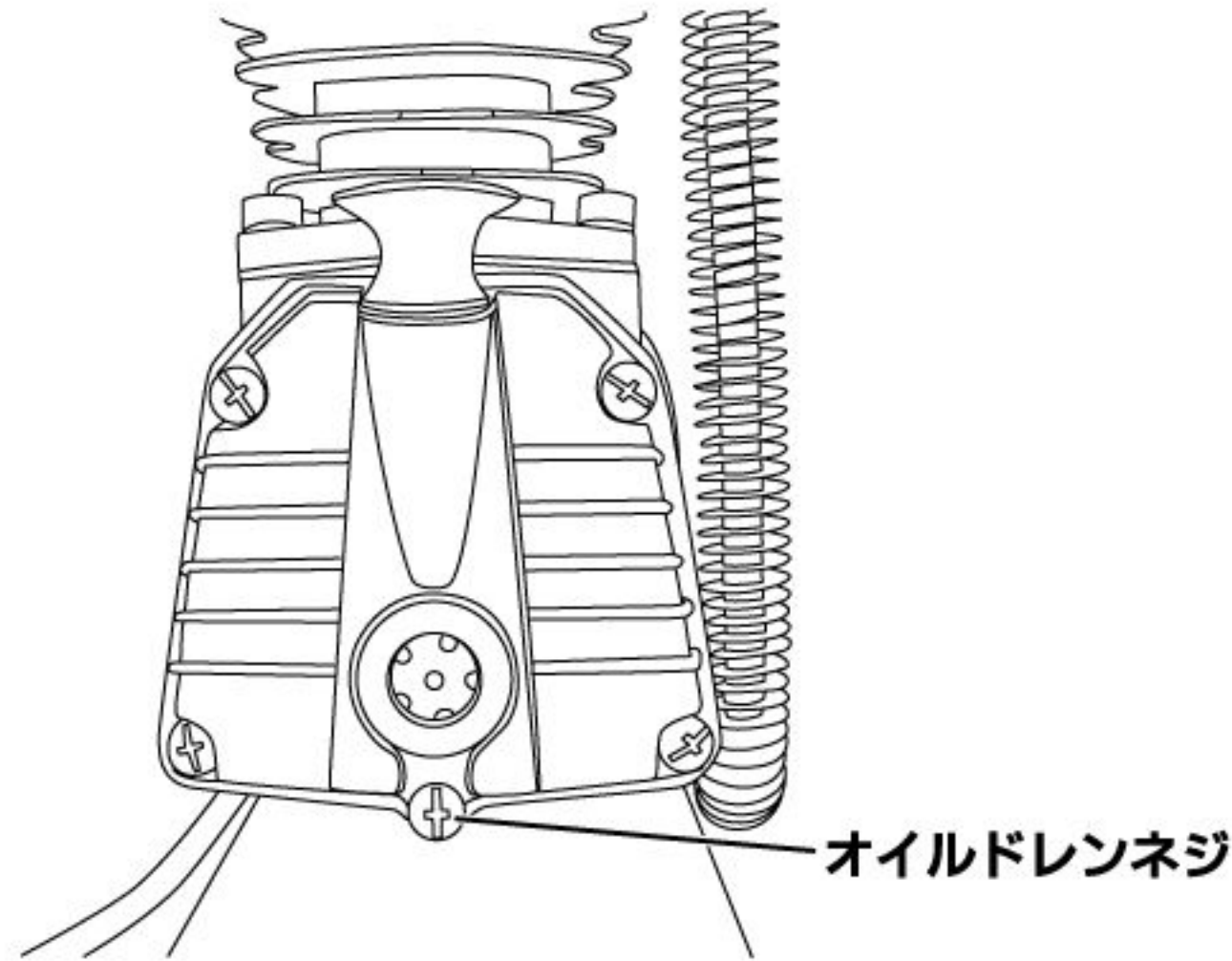
- ご使用後はスイッチをOFFにし、バッテリーからクリップを外し、エアータンク下部に付いているドレンネジを開いて水抜きをしてください。



- 空気(エア)を圧縮すると必ず水が発生します。サビ防止のため、使用後は必ずタンク内の水抜きをしてください。

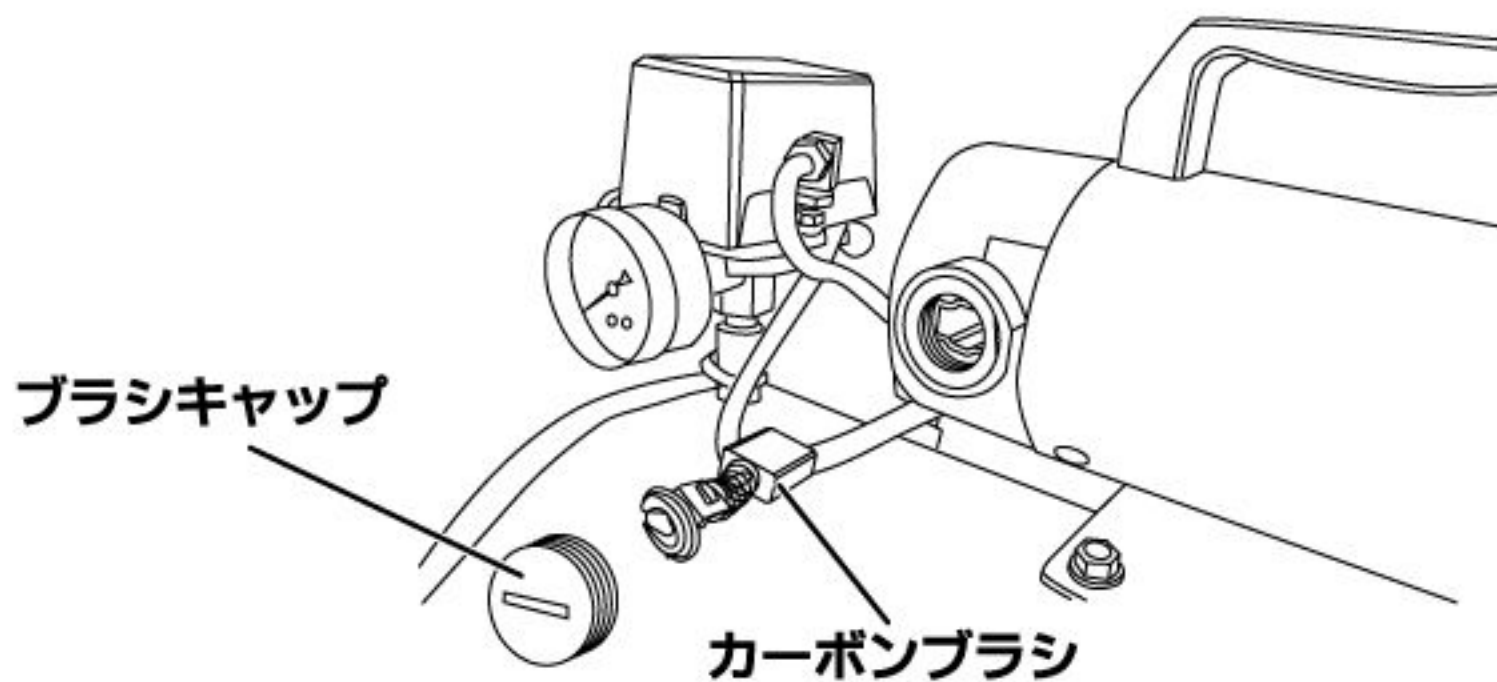
## 【オイル交換】

- オイルは使用頻度を考慮して適宜交換してください。
- オイル交換の際はオイルタンク下部に付いているオールドレンネジを外し、オイルを排出してください。  
(オイルの注油方法は、4ページ【コンプレッサーオイル】参照)  
※必ずオールドレンネジを締めてから注油を行ってください。  
※オイル交換に使用するオイルは、市販のコンプレッサーオイルをご使用ください。  
※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。



## 【カーボンブラシの交換】

- カーボンブラシは定期的に取り外して確認し、磨耗している場合には新しいものと交換してください。
- ブラシキャップ（左右2箇所）を取り外してカーボンブラシを取り出し、磨耗量を確認してください。  
カーボンブラシの交換は、カーボンブラシの2/3ぐらい消耗時が交換時期となります。



※短くなったカーボンブラシをそのまま使用すると、火花が大きくなり、モーター焼損の原因となる場合があります。



# トラブルの原因と対策

トラブルの種類	原因	対策
運転しない	クリップが外れている	クリップを確実に接続する。
	バッテリーが切れている	バッテリーを充電する。 バッテリーを交換する。
	圧力計が0.59MPa以上になっている	スイッチがOFFであることを確認し、 タンク内の空気を抜いて再起動させる。
	カーボンブラシが摩耗している	カーボンブラシを交換する。
	モーター故障	お買い求め販売店に相談する。
圧力が上がらない	ドレンネジが開いている	ドレンネジを閉じる。
	消音器の汚れ	消音器を清掃・交換する。
異常音・振動	設置不良	設置場所を変更する。 ※平らで安定した場所に設置する。

- 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
- ご自分で分解・修理は危険ですから、絶対にしないでください。感電・ケガの恐れがあります。

## 株式会社 ナカトミ

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地の2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

**お客様相談窓口 TEL. 026-245-3105 FAX. 026-248-7101**

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。

2015.02